

第9回 ソフトウェアモダライゼーション委員会 資料

JUAS活動状況報告

2025年9月16日（火）

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

1.JUASとは

<協会のビジョン>

多様な価値観が集まる場をつくり、関わるすべての人たちとともに、未来を描き次世代につなぎます

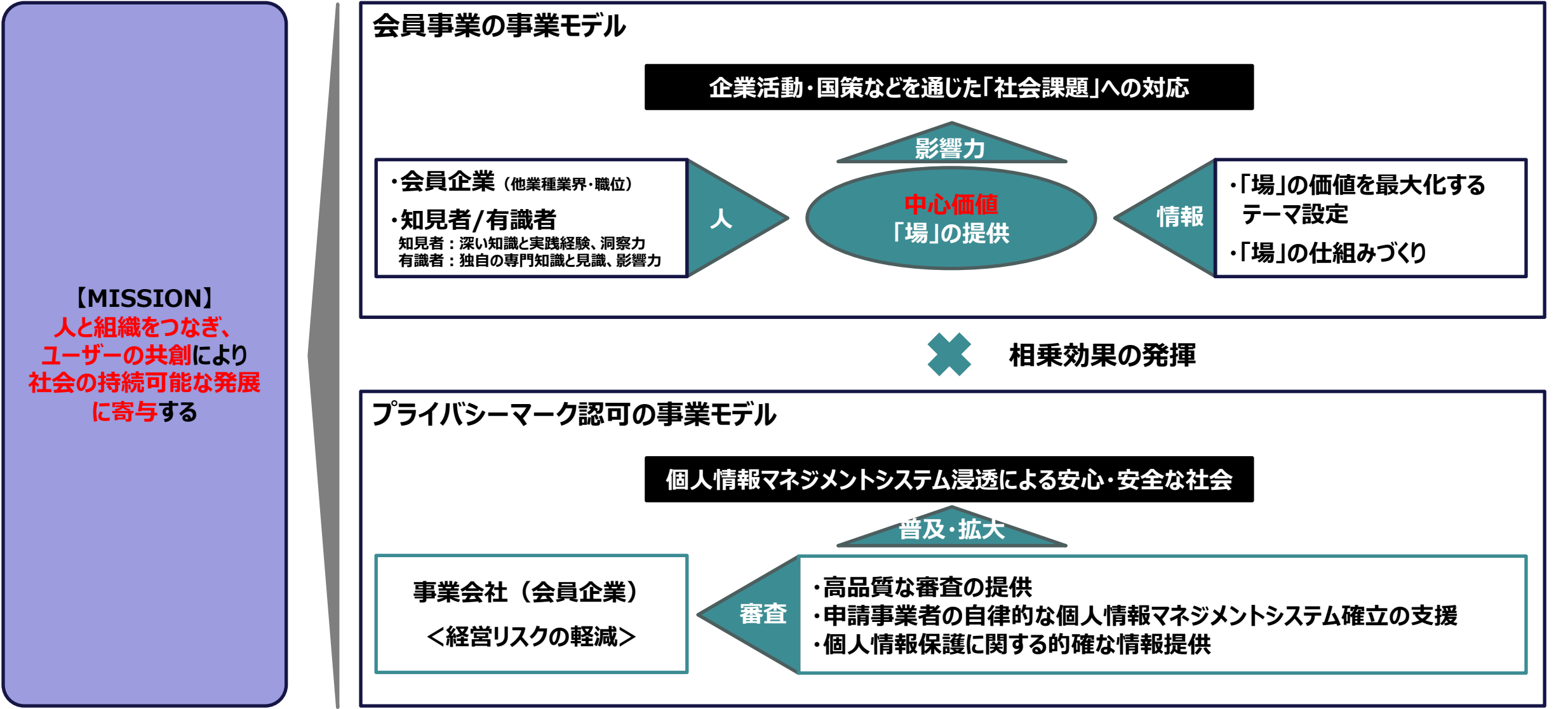
一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会（JUAS: Japan User Association of information System)の略称

中立的なITユーザーの団体であり、ユーザーの立場から情報活用を推進すべく、現在、経営と情報に関するさまざまなテーマや立場に応じた40以上の研究会、委員会を開催し、年間のべ1,000名以上の会員が参加しています。また、ユーザー団体ならではのセミナーを連日開催しています。その他、毎年、「企業IT動向調査」や「ソフトウェアメトリクス調査」等充実した調査研究を行い、研究報告書を刊行し、各種提言を行なっています。

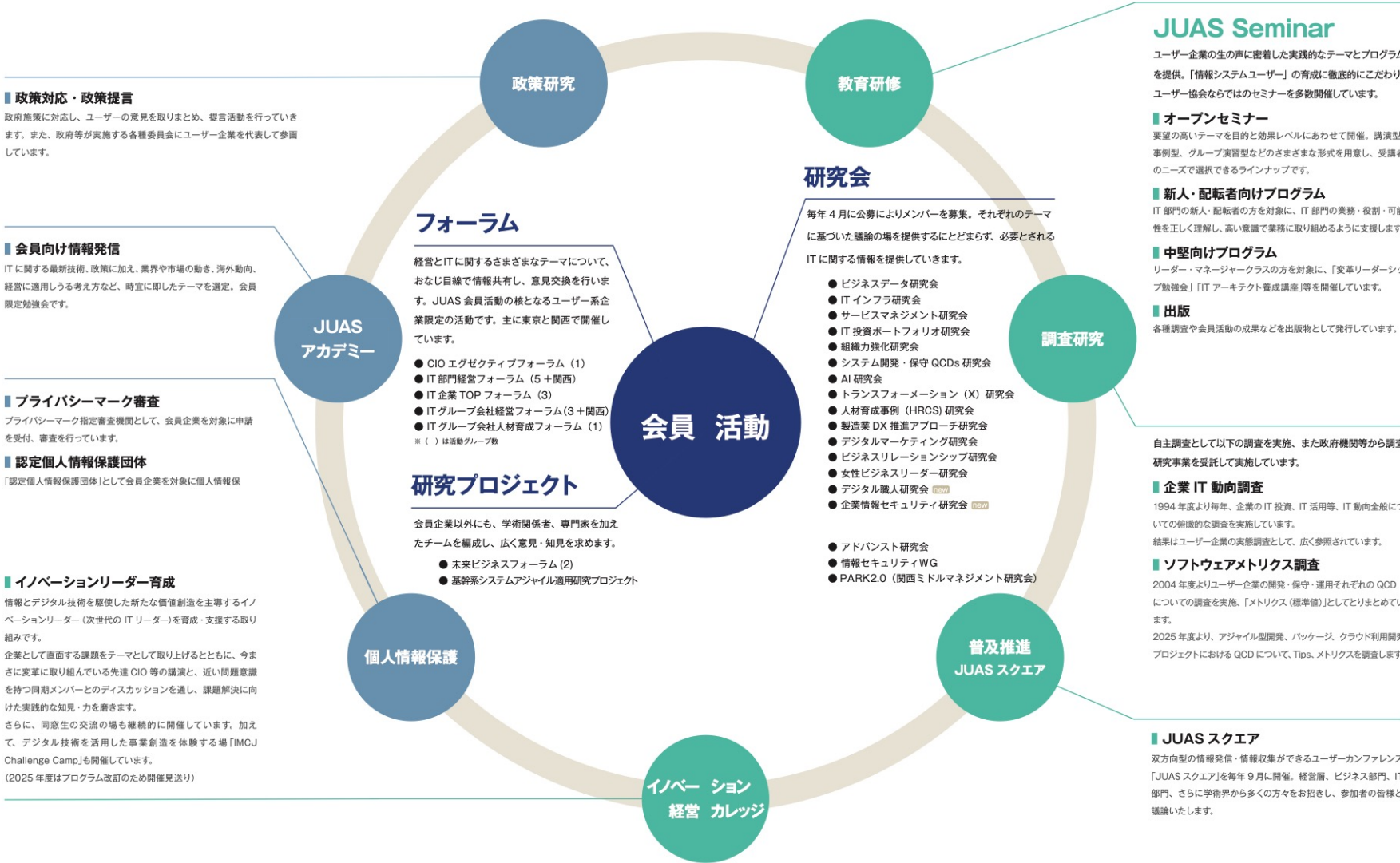
その他にも、プライバシーマーク指定審査機関として、プライバシーマーク申請の受付、審査、付与適格決定の業務を行なっています。

法人会員数（2025年9月1日現在）	正会員A	272社
	正会員B	199社
	正会員C	4,157社

2.JUASの事業モデル



3.活動概要



4.主な活動実績

■ 研究会

年間活動 会員限定

ITに関する幅広い課題について、業種・業態の垣根なく本音の意見交換や議論をし、参加者で作り上げていく参加型のコミュニティです。

2024 年度実績

16 研究会 **600** 名
(175 社) が参加

<https://www.juaseminar.jp/seminars/view/3125017>



■ 動向調査

無料公開

1994 年より毎年実施。企業の IT 投資・IT 利活用などの経年変化分析に加え、毎年の重点テーマを設定。報告書は Web サイトで全文公開しています。

2024 年度実績

1,000 社回答

https://juas.or.jp/library/research_rpt/it_trend/



■ オープンセミナー

随時開催 会員割引



情報システムユーザーの育成に焦点をあてた研修メニューを多数ご用意。

- ・開催形式：会場／オンライン／動画
- ・開催日数：半日～8 日
- ・便利でお得な受講権利（回数券）あり

2024 年度実績

250 講座 **3,500** 名

<https://www.juaseminar.jp/>



■ JUAS スクエア

会員割引



2001 年より実施。ユーザーのユーザーによるユーザーのためのカンファレンス！基調講演をはじめ、各テーマ別セッションでは、IT ユーザー企業の事例も紹介します。

2024 年度実績

1,000 名が参加

https://juas.or.jp/seminar_event/event/



5.JUASスクエア2025 (テーマ)

開催日：2025年9月4日（木） ハイアットリージェンシー東京

JUASスクエア2025

想像を超えてその先へ

新たな価値創造への挑戦

2025. 9.4 THU ハイアットリージェンシー東京（西新宿）

デジタル技術の急速な進歩に伴い、私たちのビジネス環境は日々目まぐるしく変化しています。

アニメや映画のような世界も遠い未来の話ではありません。この予測困難な時代においては、新たな「価値」を創造し続けることが、企業並びに社会の持続的な成長にとって不可欠です。私たちにとって「価値」とは何でしょうか？

企業価値は、自社の利益だけでなく、社会課題の解決など、多様な要素を含んでいます。

さらに、人的資本経営も重視される今、社員一人ひとりの価値向上も大切です。

想像を超えた未来で多様な「価値」を生み出すためには、デジタル技術の活用と先駆的な視点の融合が必要不可欠です。

情報感度を高く持ち、常に前を見据えて着実に「価値」を創造し続けていきましょう。その先には明るくワクワクする未来が待っているはずです。

JUASスクエア2025では、講演やセッションを通じて「新たな価値とは何か」、「私たちが挑戦すべきことは何か」について、

さまざまな“学び”と“気づき”を得ることができます。一緒に新たな世界の扉を開きましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

5.JUASスクエア2025（主な講演）

<基調講演>



株式会社ヒューマンルネッサンス研究所
(オムロングループ)
代表取締役社長
立石 郁雄 氏

経営の羅針盤「SINIC理論」と価値創造
～未来からの変革～

<特別講演>



株式会社セールスフォース・ジャパン
代表取締役会長 兼 社長
小出 伸一 氏

AIエージェントを駆使して新たな価値を創出しよう
～企業の取るべき行動とは～

<基調パネル>



全日本空輸株式会社
上席執行役員グループCIO
デジタル変革室長
加藤 恭子 氏



東京ガスiネット株式会社
取締役会長
嶋谷 あゆみ 氏



日揮ホールディングス株式会社
専務執行役員 CHRO
花田 琢也 氏

変革のフロントランナーと考える、「価値創造」への挑戦

全28講演

- ・基調講演
- ・特別講演
- ・基調パネル
- ・フォーラムセッション
- ・ランチョンセッション
- ・コンサルセッション
- ・事例セッション
- ・クローズアップセッション

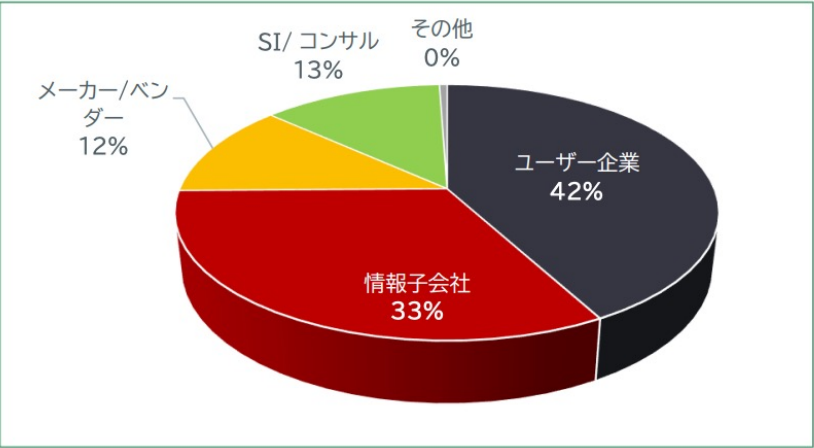
5.JUASスクエア2025（参加状況）

登録人数：1,157名
参加人数： 983名

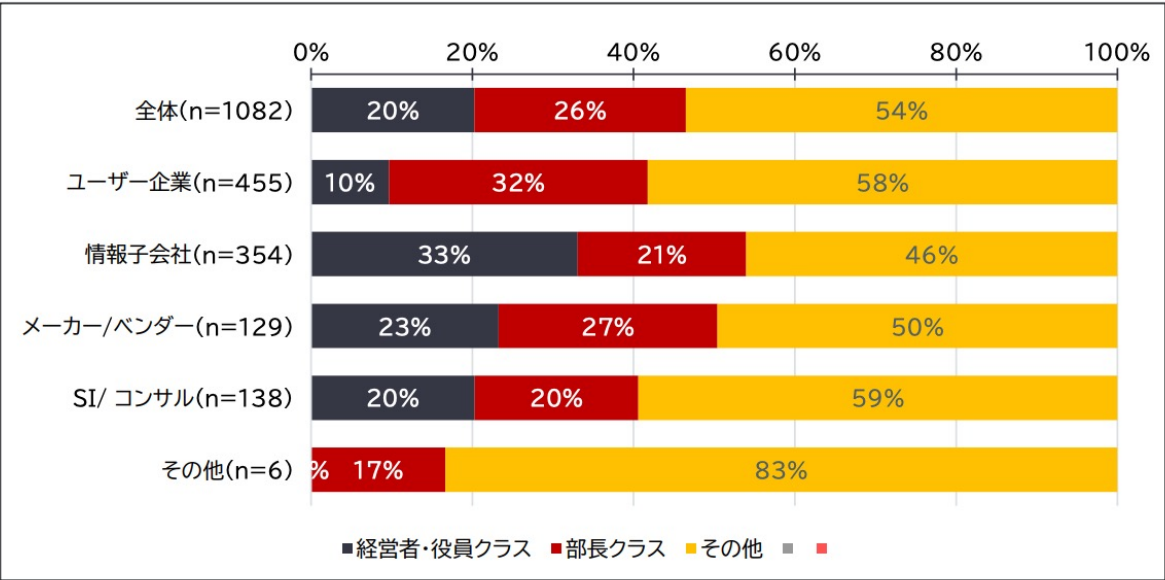
（参考）2024年度参加実績

- ＊ 参加者の約75%が事業会社、残り25%がSI・コンサル・ベンダー・メーカー
- ＊ 参加者の約50%が経営者・役員・部長クラス

● ITに対する立場：



● お役職内訳：



6. Software Defined Societyの 波を捉えて価値創出へ

Software Defined Societyの 波を捉えて価値創出へ

15:00-16:00 平安の間

企業の競争力はソフトウェアによって決まる時代に突入しています。

課題の解決策をソフトウェアで実現し、改善・改革によって効果を 高めていくSoftware-Definedな社会に移行しているのです。

しかし、日本では古い慣行や価値観が残り、直面する課題に適切 に対処できないまま国際競争力が低下しています。IPAソフト ウェアモダナイゼーション委員会は、ソフトウェアがもたらす価 値を最大化し、産業競争力と社会の持続的 発展を実現するた め の検討を行っています。

IPAソフトウェア モダナイゼーション委員会
株式会社 NTTデータグループ

端山 毅 氏

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

藤本 礼久



6. Software Defined Societyの 波を捉えて価値創出へ

テーマ説明

IPAソフトウェアモダナイゼーション委員会/テーマ/登壇者紹介

背景

- ①デジタル化投資の急拡大、②人口減少による国内市場縮小、③ソフトウェアによる価値創出

JUASスクエア2025

Software Defined Societyの波
を捉えて価値創出へ

2025年9月4日（木）
登壇者 殿
（独）情報処理推進機構 ソフトウェアモダナイゼーション委員会委員長
（株）NTTデータグループ 技術革新統括本部品質保証部

© 2025 NTT DATA Group Corporation

NTT DATA

ネクストステージ・ビジョン

＜ソフトウェア特性＞

- ①製品（サービス）開発サイクルの短縮、②利用状況に分析に基づいて頻繁に改善できる
ソフトウェアを中心としたデジタル技術＋社会全体の主体的な参画と対話→価値創出

背景・ビジョンの確認

我々がなすべきことは

- ・ソフトウェアの特性を活かす（対話と更新、人間の能力を拡張）
・必要となる取り組み**「組織」「人材」「制度とインフラ」「技術」**

対談

- ①社会課題解決を起点とした**新規事業の創出**を行う上で、事業会社が考えるべき点（ビジネス視点）
②**ソフトウェア特性を活かした価値創造**を行っていく上で、事業会社が考えるべき点（実装視点）